

主 文

本上告を棄却する。

当審における訴訟費用は全部被告人の負担とする。

理 由

弁護人金子汎利の上告趣意（後記）は、いずれも、憲法違反を主張するけれども、その実質は、刑訴四―一条に該当する事由のあることを主張するに帰するのであつて、上告適法の理由にならない。また記録を精査しても同四―一条を適用すべきものとは認められない。

よつて同四―四条三八六条一項三号一―一条により主文のとおり決定する。

この決定は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二六年七月二〇日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	栗	山	茂
--------	---	---	---

裁判官	小	谷	勝	重
-----	---	---	---	---

裁判官	藤	田	八	郎
-----	---	---	---	---

裁判官	谷	村	唯	一	郎
-----	---	---	---	---	---